

# 教育環境整備とコロナ対策

## 文教委員会

6月18日に文教委員会を開催し、教育部から説明を受けた後、質疑を行いました。

### 令和2年度 1学期の主要事業の状況（抜粋）

- 町立小中学校トイレ改修工事（子どもたちが快適な環境で学校生活を送り、また、災害発生時には避難所として多世代の方が使うことを考慮し洋式化に）
- 町立小中学校情報通信ネットワーク環境施設整備工事（国のGIGAスクール構想）
- 町民グラウンド改修工事（平成30年7月豪雨災害で発生した土砂等の仮置き場として使用していた町民グラウンドを改修し、あわせてグラウンド面の勾配調整を行い、排水機能の向上を図る）



▲ 改修前（町民グラウンド）



▲ 工事完了

### 新型コロナウイルスの影響による今後の事業計画

学校生活では、夏休みの短縮、運動会や体育祭の中止など、各種行事を見直し授業時間が確保されます。各公民館等の事業も中止や延期、縮小など影響が出ています。

### 質疑の抜粋

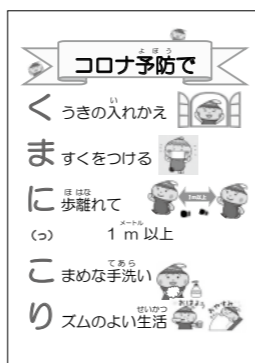
Q 子ども達の宿題が多く負担になっている。遅れた授業の学習計画は？

A 臨時休業により補充学習が必要となり、家庭での学習が多くなっている。遅れた授業については、年間指導計画を見直し、取り組んでいる。

新しい生活様式（身体的距離の確保・咳エチケット・手洗い・換気など）のもと、子どもたちや公共施設利用者が、安全に安心して過ごすことができるよう、委員会として要望していきます。



▲ 机の間は1m空けて



## Q 新型コロナ対策における町独自の施策は

A <町長>

国、県の施策を踏まえた上で町独自の取り組みを講じる。



水原 耕一 議員

【Q1】 これから雨の多い時期に入る。3密を避けるための避難場所対策はできているか。

【A1】 通常より多くの避難スペースを確保し、問診を受付時に行う。発熱等がある方は、ゾーン分けした部屋に案内し、他の避難者と、ソーシャルディスタンス（2m）の確保に取り組む。また、車中泊も一つの選択肢として考えている。

【Q2】 おでかけ号の車内は3密になりやすい空間である。運行指示等、委託業者との間で話し合いはされているか。また、消毒液等の配布は考えているか。

【A2】 そのようなルールは現在はないが、生活福祉交通協議会の

中で協議していきたい。運行会社への支援は、要望があれば検討する。

【Q3】 町内の商店を守る観点から誰でも購入できるプレミアム付商品券の発行をお願いしたい。

【A3】 プレミアム付商品券の発行は有効な手段の一つとして認識している。課題と効果を十分に検討していく。

【Q4】 町内の商店への支援（返礼品等）や財源確保のため、ふるさと納税のアピールをお願いしたい。

【A4】 ホームページ上で目立つ工夫や、セレクトショップ等でのPRと、返礼品事業者数の増加や、返礼率のアップを検討していく。

## Q コロナ禍により生活破綻させない、倒産させない

A <町長>

国の臨時交付金を活用し、町民と事業者への支援を実施する。



光本 一也 議員

【Q1】 商工会、金融機関からの要望を踏まえた町独自の経済支援策は。

【A1】 事業継続化への支援、雇用調整助成金の申請に要した経費の一部助成のほか、宅配やテイクアウトに取り組み飲食店を応援するWebサイトの構築・運営に向けた経費を助成する。

【Q2】 コロナ対策の財源確保に向けた今年度事業の見直しと、ふるさと納税の活用は。

【A2】 既に中止したイベントや今後中止しなければならぬ事業等もあり、事業の見直しは必要と考える。5月末現在、前年度より100万円減のふるさと納税は増額に向け取り組む。

【Q3】 新型コロナウイルス感染症に関する支援制度を町民に分かりやすく広報紙等で周知できないか。

【A3】 国・県、町の独自支援制度のチラシを作成し、7月広報の配布時に全戸配布する。

【Q4】 コロナ禍での災害避難対策として、町はマスク、アルコール除菌シート、毛布など、各自が平時から準備しておく「非常時持出品チェック表」を作成し、全戸配布すべきと考えられているか。

【A4】 今年度作成し全戸配布予定の「町防災・減災まちづくり条例概要版」の中に「非常時持出品チェック表」を盛り込むよう検討する。